

平成25年 9月18日

高速増殖原型炉もんじゅの炉外燃料貯蔵槽のDPD指示値低下に伴う
LCO（運転上の制限）の逸脱及び逸脱からの復帰について

発生日時	平成25年 9月18日（水）11時35分
発生場所	高速増殖炉研究開発センター 高速増殖原型炉もんじゅ 原子炉補助建物
状況	<p>高速増殖原型炉もんじゅは、低温停止中のところ、9月18日（水）11時10分頃、中央制御室において、炉外燃料貯蔵槽本体及び同室内のナトリウム漏えいを監視しているDPDの差圧の低下を確認しました。現場を確認したところDPD入口の手動弁が閉まっていたため、11時35分、ナトリウム漏えい監視機能の停止による原子炉施設保安規定第34条に定める運転上の制限の逸脱を宣言しました。</p> <p>その後、復旧作業として当該手動弁を開けてサンプリングポンプを起動し、DPDの差圧が復帰したことを確認したことから、12時32分、運転上の制限の逸脱からの復帰を宣言しました。</p> <p>なお、本日、当該手動弁の近傍にて配管保温材の設置作業を行っていました。</p> <p>DPDの差圧が低下していた間も、ナトリウム液位計によるナトリウム漏えいの監視を継続しており、異常はありませんでした。</p>
環境への影響	本事象による環境への影響はありません。
原因	当該手動弁が閉まっていたためです。
備考	<p><参考></p> <ul style="list-style-type: none">・DPD (Differential Pressure Detector) : 差圧式ナトリウム漏えい検出器